

『中高年の病気だから関係ない』と思っっている若者がいたら、大間違い。県内の小学4年生約6750人を対象に、生活習慣病の検査を行ったところ、児童の10人に1人が脂質、血糖値、肝機能の異常など生活習慣病予備軍という、

驚くべき事実も判明しました」と言うのが村尾教授。全国に先駆けて行った、この児童への生活習慣病調査をはじめ、基礎研究、臨床体制の整備など、多面的な糖尿病対策に取り組んでいます。「善玉コレステロール」という言葉を耳にしたことはありませんか。全身の血管からコレステロールを引き抜き肝臓に戻す「HDL」のことです。村尾教授は、HDL代謝を上げるための、二つの基礎研究を行っています。一つはHDL受容体CLA-1について。HDLが集めたコレステロールをポールとすると、それを受け取るには「受容体」と呼ばれる専用のグロブが必要。そのグロブがCLA-1であり、世界で

初めて同定しました。このグロブの働きを活性化し、HDL代謝を上げるための研究をしています。二つ目は遺伝子を活性化させる転写因子PREBについて。PREB遺伝子を活性化させると、膵臓でインスリンを作る膵臓β細胞が増殖し、生活習慣病である脂肪肝にならないなどの利点があります。村尾教授は転写因子PREBを遺伝子導入したマウスを用いた基礎研究をもとに、どのような医療現場で役立つのか、そのための道を探っています。

捉え、結成されたのが県内の医療機関が連携する「チーム香川」です。県内のほぼ全医療機関を、電子カルテを使ってインターネットで結ぶ医療ITネットワーク「K-MIX」を利用し、糖尿病地域連携クリティカルパスの構築です。つまり医療ITを用いた糖尿病専門医とかかりつけ医の連携を目指しています。さらに、臨床の電子データをリアルタイムに解析することができる疾病管理マップを作成し、患者の重症度に合わせた適切な医療資源を提供し、地域における糖尿病の疾病コントロールシステムを構築しています。

日本は、糖尿病治療の先進国。中でもこれだけしっかり医療IT体制を整えているのは香川県だけです。村尾教授を始め、様々な人の努力が実を結び、糖尿病ワーストワンからの脱出だけでなく、世界の糖尿病治療に大きく貢献しようとしています。

糖尿病治療モデルを香川から世界へ

小学4年生の10人に1人が糖尿病予備軍

糖

尿病受療率が2008年の調査で全国1位、2011年は2位と、香川は糖尿病の人が多い県。昼ごはんは連日、うどんとばら寿司や天ぷらをセットで食べる、炭水化物好きが一因ともいわれますが、いずれにしても嬉しいくない高順位です。

『中高年の病気だから関係ない』と思っっている若者がいたら、大間違い。県内の小学4年生約6750人を対象に、生活習慣病の検査を行ったところ、児童の10人に1人が脂質、血糖値、肝機能の異常など生活習慣病予備軍という、

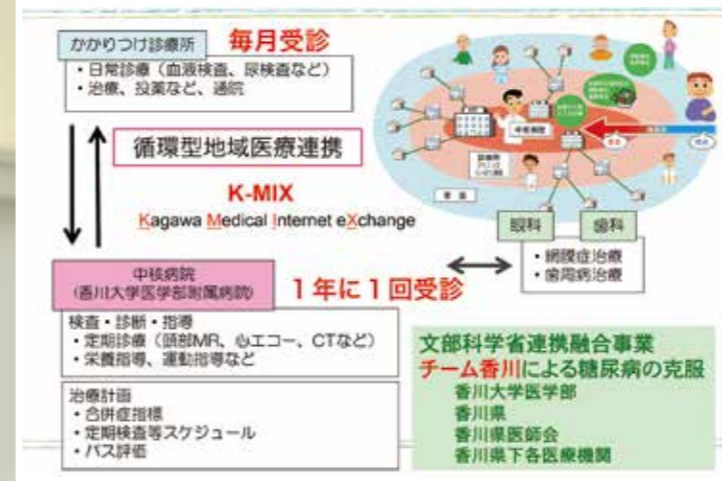
驚くべき事実も判明しました」と言うのが村尾教授。全国に先駆けて行った、この児童への生活習慣病調査をはじめ、基礎研究、臨床体制の整備など、多面的な糖尿病対策に取り組んでいます。「善玉コレステロール」という言葉を耳にしたことはありませんか。全身の血管からコレステロールを引き抜き肝臓に戻す「HDL」のことです。村尾教授は、HDL代謝を上げるための、二つの基礎研究を行っています。一つはHDL受容体CLA-1について。HDLが集めたコレステロールをポールとすると、それを受け取るには「受容体」と呼ばれる専用のグロブが必要。そのグロブがCLA-1であり、世界で

初めて同定しました。このグロブの働きを活性化し、HDL代謝を上げるための研究をしています。二つ目は遺伝子を活性化させる転写因子PREBについて。PREB遺伝子を活性化させると、膵臓でインスリンを作る膵臓β細胞が増殖し、生活習慣病である脂肪肝にならないなどの利点があります。村尾教授は転写因子PREBを遺伝子導入したマウスを用いた基礎研究をもとに、どのような医療現場で役立つのか、そのための道を探っています。

捉え、結成されたのが県内の医療機関が連携する「チーム香川」です。県内のほぼ全医療機関を、電子カルテを使ってインターネットで結ぶ医療ITネットワーク「K-MIX」を利用し、糖尿病地域連携クリティカルパスの構築です。つまり医療ITを用いた糖尿病専門医とかかりつけ医の連携を目指しています。さらに、臨床の電子データをリアルタイムに解析することができる疾病管理マップを作成し、患者の重症度に合わせた適切な医療資源を提供し、地域における糖尿病の疾病コントロールシステムを構築しています。

日本は、糖尿病治療の先進国。中でもこれだけしっかり医療IT体制を整えているのは香川県だけです。村尾教授を始め、様々な人の努力が実を結び、糖尿病ワーストワンからの脱出だけでなく、世界の糖尿病治療に大きく貢献しようとしています。

「チーム香川」による糖尿病の克服プロジェクト



地域のかかりつけ医と専門医がK-MIXで繋がる事により、より適切な診療が行えます。

KEYWORD

【 糖尿病 】

糖質(血糖)を調節するインスリンというホルモン(膵臓から分泌される)が不足したり、作用が不十分のために常に血糖が高い状態になっている病気です。自覚症状に乏しく、重篤な合併症を引き起こす特徴があります。現在患者数は約950万人いるといわれており、増加傾向にあります。



村尾孝児

KOJI MURAO

むらお こうじ
香川大学医学部附属病院 糖尿病センター長
香川大学医学部附属病院 内分泌代謝内科 診療科長
教授
専門分野:内分泌代謝・糖尿病